

# MOT/Phone

iPhone版

User's Guide



技術者向けマニュアル  
(MOT/Phone Ver6.13.1対応)

第61.1版  
2022年4月8日

株式会社バルテック

## お使いになる前に/はじめに

---

- 用語集 ..... 4

## もっと便利に使う

---

- MOT/Phoneから自分の携帯番号で発信する ..... 5
- MOT/Phoneでの通話中、携帯着信があった場合 ..... 6
- Callkit機能の説明 ..... 7

## その他の設定

---

- 設定画面[その他の設定]各項目の説明 ..... 13
- 音質を調節するには ..... 18
- 通信プロトコルの設定を変更するには ..... 20
- アプリの設定を初期化するには ..... 22
- アプリの設定を保存・復元するには ..... 23
- 不具合が発生した場合、デバック用ログを取得・送信するには ..... 29
- MOT/Phoneアプリのアップデートを行うには ..... 32
- MOT/Phoneアプリのアンインストールを行うには ..... 33
- 他社アプリ「連絡とれるくん」と連携するには ..... 34
- 外部サービス連携の設定をするには ..... 35

## オプション機能

---

- 出退勤機能とエントランス解錠を連携する.....41
- スマートロック解錠機能を利用する.....43
- エントランス解錠機能を利用する.....46

### <仕様・注意事項>

- 仕様.....49
- 注意事項.....50

# 用語集

本マニュアル内で使われている用語を解説しています。

用語	説明
プッシュ通知	着信・FAXの受信などを画面上に表示します。
ダイアログ	画面に一時的に表示するウィンドウです。
デフォルト	最初から設定されている状態を指します。
パーク保留	MOT/Phoneをインストールした他者の電話機と保留を共有できます。
自己保留	自分の電話機のみで保留を行います。
ログ	スマートフォンもしくはMOT/PBXに記録される履歴や情報を指します。
鳴動	着信音、バイブのことを指します。
Callkit	iPhone標準の電話アプリにMOT/Phoneの発着信履歴を表示したり、プッシュ通知を有効にします。iOS10以降に対応しています。

発信番号の  
選択・設定MOT/Phoneから自分の携帯番号で  
発信する

オンにすると発信時に携帯発信するかどうかを確認します。  
プレフィックスを設定すると発信先番号にプレフィックスを付与します。

**①携帯発信選択**

オンすると発信時に携帯発信するかどうかを確認します。

**②プレフィックス**

設定すると、携帯発信するときに自動的にプレフィックスを付与します。設定していなければ、プレフィックスを付与しません。

**動作仕様**

- 前頁の携帯発信設定で設定した番号に発信した場合、携帯発信選択がオンでも即時携帯発信します。
- プレフィックスは携帯発信に付与されます。MOT/PBX発信には付与されません。

発信番号の  
選択・設定MOT/Phoneでの通話中、携帯着信があった場合に  
応答する通話を選択する

MOT/PhoneでIP通話中、携帯電話番号に着信があると、携帯電話の通話が優先されます。MOT/Phoneの通話相手にはガイダンスが再生されます。

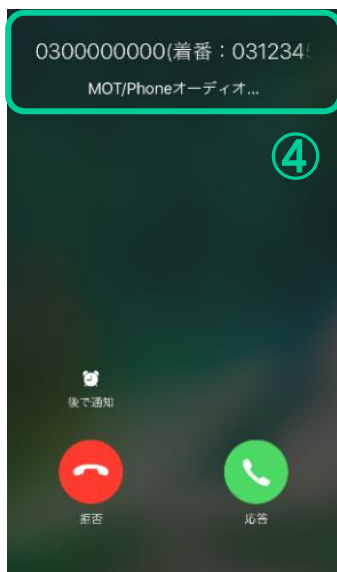


## 注意事項

- auのiPhoneで携帯電話網(4G/LTE)を利用しIP通話中のとき、携帯電話に着信するとパケット通信が遮断される携帯網の仕様のため、ガイダンスが流れません。IP電話の通話相手は無音になり数十秒後に切断されます。
- auのiPhoneでWiFiを利用しIP通話中のとき、およびSoftBankとdocomoのiPhoneではガイダンスを再生します。
- ガイダンスを再生する代わりに、強制保留にする事も可能です。設定で選択できます。
- Callkitが無効の場合のみ本機能が有効になります。  
Callkitが有効の場合は、ガイダンスは再生されず携帯電話着信に応答したタイミングで自動的にIP通話が切断されます。

# Callkitを設定する

Callkit(コールキット)とは、iPhone標準の電話UI(ユーザインタフェース)をiPhoneアプリにおいても利用可能にする機能です。



設定＞着信動作設定＞Callkitを使うで設定を確認してください。

## ①Callkitを使う

初期値「オン」のままです。

## ②標準電話アプリに履歴を表示する

初期値は「オン」になっています。

iPhoneの標準電話アプリの履歴にMOT/Phoneの履歴を表示させない場合は、「オフ」に変更してください。※iOS11以降対応。iOS11未満の場合、設定をオフにしても履歴が表示されます。

## ③iPhoneの着信音を使用する

MOT/Phone着信時にiPhoneの着信音を使用することが可能です。

## ④着信番号表示

MOT/Phone着信時に、相手番号(または相手先名)の後に着信自局番号を表示させます。

※設定後はMOT/Phoneを再起動してください。

※iPhoneの履歴から折り返し発信をする際、以下の点にお気をつけください。

- 本アプリ未起動の場合、iPhoneの着信履歴からの折り返しはできません。
- MOT/Phoneアプリを起動したうえで、着信履歴より折り返しをしてください。

## Callkitの発信動作

Callkit(コールキット)とは、iPhone標準の電話UI(ユーザインタフェース)をiPhoneアプリにおいても利用可能にする機能です。

## Callkitの発信操作

## 連絡先からの発信方法①



MOT/Phoneの表記がある番号をタップし発信します。

## 連絡先からの発信方法②



電話アイコンを長押し

MOT/Phoneの表記がある番号をタップし発信します。

## 履歴からの発信方法



iPhoneの履歴にもMOT/Phone経由の履歴が残り、MOT/Phone経由の発信は「MOT/Phoneオーディオ」と表記されます。

MOT/Phoneオーディオの表記がある履歴をタップし発信します



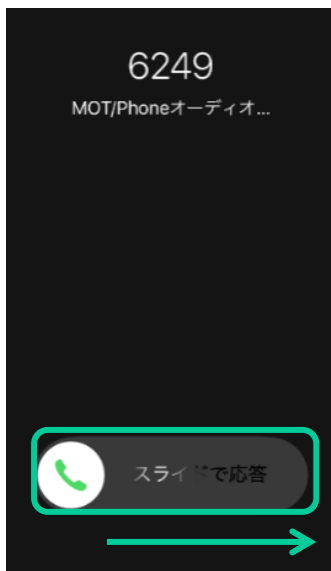
## Callkitの着信動作

Callkit(コールキット)とは、iPhone標準の電話UI(ユーザインタフェース)をiPhoneアプリにおいても利用可能にする機能です。

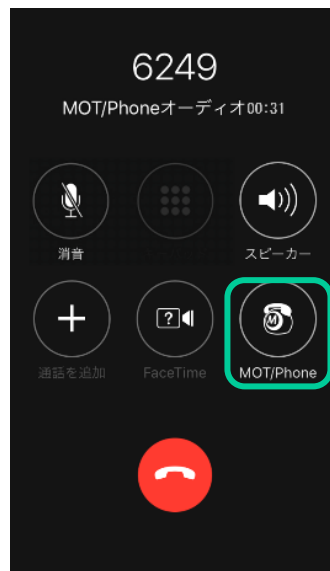
## Callkitの着信動作

iPhone標準の電話に着信したときと同じように画面ロック中であってもパスコードを入力することなく応答することが可能です。

## Callkit設定オンの着信イメージ



スライドして応答



通話開始

※MOT/Phoneアイコンをタップすると、MOT/Phoneの画面に移ります。



MOT/Phone画面へ

※パーク保留や保留転送等のMOT/Phoneの機能を利用する場合は、MOT/Phoneのアイコンをタップすることで利用可能になります。  
(パスコードを設定している場合は、アイコンタップの後パスコードを入力する必要があります。)

▶次ページへ続く

# Callkitの着信動作

Callkit(コールキット)とは、iPhone標準の電話UI(ユーザインタフェース)をiPhoneアプリにおいても利用可能にする機能です。

## MOT/Phone通話中の携帯着信割り込み

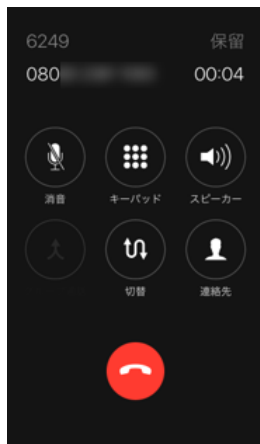


MOT/Phone通話中に携帯電話への着信があった場合、保留または切断せずに継続して通話が可能です。

- ①通話を終了して応答
- ②留守番電話に転送
- ③通話を保留して応答

「プップ」<sup>※</sup>と携帯着信をお知らせする音が流れます。

### ①終了して応答



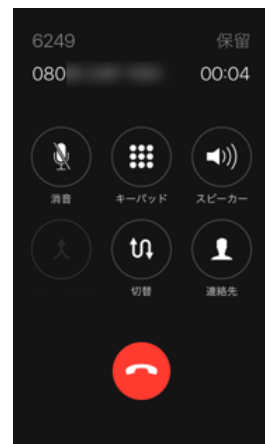
MOT/Phone の通話を終了して、携帯着信に応答します。

### ②留守番電話に転送



携帯への着信を留守番電話に転送して、MOT/Phoneの通話を継続します。(キャリアの設定や契約に依存します)

### ③保留して応答



MOT/Phone の通話を保留して、携帯着信に応答します。

## Callkit画面で着信番号を表示する

本設定を有効にすることでCallkit着信画面にて着信番号が先に表示されるようになります。



設定＞着信動作設定＞着信番号を先に表示するで設定を確認してください。

- ①着信番号を先に表示する
- ②標準連絡先の着信番号表示

の両方をオンにすると、Callkit画面にて着信番号が先に表示されます。

## 注意事項

- デフォルトでは無効になっています。
- この設定を有効にした場合、iOS仕様上の制限により連絡とれるくんと連携は無効化されます。
- この設定を有効にした場合、MOT/PhoneでのiPhone標準通話履歴の番号は「SNSプロフィール」となります。その番号を標準連絡先に登録する場合は「SNSプロフィール」ではなく「電話番号」として登録いただきますようお願いいたします。
- iOS仕様上の制限により、iPhone標準連絡先の電話番号が「SNSプロフィール」として登録されている場合は本設定を有効にしても、その番号を着信番号として表示することはできません。



# Callkit設定時の注意事項

## Callkit設定時の注意事項

### 注意事項

- Callkitはプッシュ着信の設定がオンになっている必要があります。
- MOT/Phone通話中に携帯電話への着信があった場合に「留守番電話に転送」ボタンを押した際の動作は、キャリアの留守番電話の設定や契約に依存します。その設定によっては留守番電話に転送されず、応答を拒否します。
- 携帯通話中にMOT/Phoneに着信があった場合は、相手側は話中となるようにしておりますが、稀に話中とならずに割り込みが発生し、プップッと電話が来ていることを知らせる動作をしてしまいます。その場合MOT/Phoneへの着信には応答しないようにしてください。通話が無音になってしまう場合があります。
- 通話の割り込みがあった際に、携帯電話とMOT/Phone双方の通話を保留にしないでください。保留解除後の通話が無音になってしまう場合があります。保留する場合はどちらか一方のみ保留してください。
- 設定>着信動作設定の「iPhoneの着信音を利用する」の設定が“オフ”の場合、「内線着信音」に設定されている着信音で鳴動します。
- CallKitがオンのときは、「外線番号指定着信音」(鳴動音の鳴らし分け)の設定はできません。
- MOT/Phoneの電話帳からは全てMOT/Phoneが接続している外線番号から発信します。
- パーク保留や保留転送といったMOT/Phone機能を利用する場合は、MOT/PhoneのアイコンをタップしてMOT/Phoneの画面に遷移することで利用可能です。ただし、iPhoneのパスコード入力中に着信が入った場合、MOT/PhoneアイコンをタップしてもMOT/Phone画面に遷移することができないためパーク保留や保留転送等のMOT/Phone機能を利用できません。

## 設定画面[その他の設定]各項目の説明

MOT/Phoneの動作について設定変更できます。

## 設定＞その他の設定

## ①警告音

MOT/Phone通話中に通信状態が悪くなっているときに警告音を鳴らす場合はオンにします。

## ②パケットロス表示

パケットロス表示を“オン”にすると、通話中画面にパケットロス率を表示します。

## ③スリープ

MOT/Phoneが立ち上がっている時、iPhoneをスリープさせるかどうかを設定します。スリープしないので、着信時パスコード入力の手間を省くことができます。

スリープさせないとバッテリー消費が早くなりますので、MOT/Phoneを立ち上げているときは、電源を接続することをお勧めします。

有効(スリープさせる)

しばらくするとiPhoneがスリープします。

ローカルアカウント時無効

ローカルアカウントを利用している、且つMOT/Phoneを立ち上げているときは、iPhoneがスリープしません。

無効(スリープさせない)

MOT/Phoneを立ち上げているときは、iPhoneがスリープしません。



▶次ページへ続く

## 設定画面[その他の設定]各項目の説明

④

MOT/PHONE通話中に携帯着信した時、ガイダンスを再生するか強制保留するか選択します。

携帯着信ガイダンス再生



⑤

受話音量

受話音量



⑥

BLUETOOTH設定

BLUETOOTH使用時に音質が悪い場合はサンプリングレート設定をONにし、任意の値に変更してください。

Bluetoothで通話する



サンプリングレート設定



サンプリングレート

48 kHz &gt;

**④携帯着信ガイダンス再生**

MOT/Phone通話中に携帯着信した時の挙動を設定します。オンにするとガイダンスを再生します。オフにすると強制保留します。

**⑤受話音量**

ベースの受話音量を調整します。iPhoneの音量ボタンを最大にしても音量が小さい場合、受話音量を大きくしてください。

**⑥Bluetoothで通話する**

Bluetoothの音声入出力機器を接続している場合、通話をBluetoothで行うか、iPhone本体のスピーカー・マイクで行うかを設定します。オフにすると、Bluetoothを利用しません。  
(初期値: オン)

※着信音は、Bluetooth機器が接続されていれば、Bluetooth機器で鳴動します。

▶次ページへ続く

## 設定画面[その他の設定]各項目の説明



### ⑦サンプリングレート

Bluetoothの音声入出力機器を接続している場合、通話音声が悪化する場合があります。その際にこちらをオンにして任意の値に変更してください。(初期値:オフ、44.1 kHz)

#### ※オンにした場合

通話開始時にBluetooth機器に音声を出力するため、接続音が2回、もしくは3回鳴る場合があります。通話開始時に若干の無音状態が発生します。

# 複数のアカウントを利用する際の 設定

MOT/Phoneアカウントを複数利用する際に設定します。  
「冗長化構成」が可能です。



内線 811/311 で登録

インターネット

内線 8001/3001 で登録



プライマリMOT/PBX  
IPアドレス:1.1.1.1



セカンダリMOT/PBX  
IPアドレス:2.2.2.2

## 注意事項

- プライマリのみパーク保留が使えます。
- プライマリとセカンダリは別ドメイン（別サーバアドレス）にしてください。
- プライマリとセカンダリの電話番号は違う番号にしてください。
- 通話は1chのみです。通話中のキャッチホン機能はありません。
- セカンダリのみ設定しても正常動作しません。アカウントを1つだけ利用する場合はプライマリに設定してください。



▶次ページへ続く



# 複数のアカウントを利用する際の 設定

セカンダリアccountを設定した場合、発信時にどちらのアカウントを使って発信するか設定します。

## 設定 > 接続設定 > セカンダリアccount > 発信選択



※セカンダリアccountを設定していない場合、  
本設定は無効です。

### ① 発信選択

① 発信時にプライマリを使うか、セカンダリを使うか、  
または都度選択するかを設定します。

②

### ② 登録状態確認

オンの場合、発信時に登録状態を確認します。  
登録エラーの場合、発信選択の設定に関わらず  
自動的にもう一方のアカウントで発信します。

オフの場合、発信時に登録状態を確認しません。  
登録エラーの場合でも、選択したアカウントで発信  
します。



「都度選択」を設定した場合、発信時に左図のシート  
が表示され、プライマリかセカンダリを選択して発信  
します。

選択した発信が失敗しても、もう片方のアカウントで  
発信しなおす事はありません。

## 音質を調節する

MOT/Phoneの通話で使用するコーデックを選択します。  
ビデオ通話を利用する場合は該当の映像コーデックを選択します。



## 設定 &gt; 接続設定 &gt; コーデック設定

## ①グローバルアカウント

グローバルアカウントで音声通話する時のコーデックを設定します。初期値はSILKです。

## ②ローカルアカウント

ローカルアカウントで音声通話する時のコーデックを設定します。初期値はPCMUです。

## ③ビデオ通話

IPドアホンとビデオ通話する場合、『H.264』をオンにします。

※MOT/TELではビデオ通話サービスはご利用できません。

▶次ページへ続く

# 音質を調節する

## ④発信時ビデオ通話選択

ビデオ通話のコーデックが選択されており本設定がオフの場合、常にビデオ通話モードで発信します。ただし、相手が音声通話で応答した場合はビデオ通話になりません。

## ⑤縦画面表示

本設定がオフの場合、ビデオ通話画面の表示が横向き固定になります。オンの場合、ビデオ通話画面の表示がiPhoneの傾きに合わせて縦横が切り替ります。ただし、縦表示のとき、通話相手側で見る映像がみだれる場合があります。

### < 接続設定 コーデック設定

それぞれのアカウントで利用する音声コーデックを選択して下さい。

グローバルアカウント SILK >

ローカルアカウント PCMU >

### ビデオ通話

※スマートフォン同士のビデオ通話は推奨しません。

MPEG-4

H.264

### ビデオ通話詳細設定

発信時ビデオ通話選択 ④

縦画面表示 ⑤

## 通信プロトコルの設定を変更する

TLSを利用すると、音声パケットが暗号化され通信セキュリティを向上します。



設定>接続設定>トランスポート設定>  
で設定することができます。

初期値はUDPが選択されており、通常は初期値のまま利用します。

## 【利用イメージ】



## 注意事項

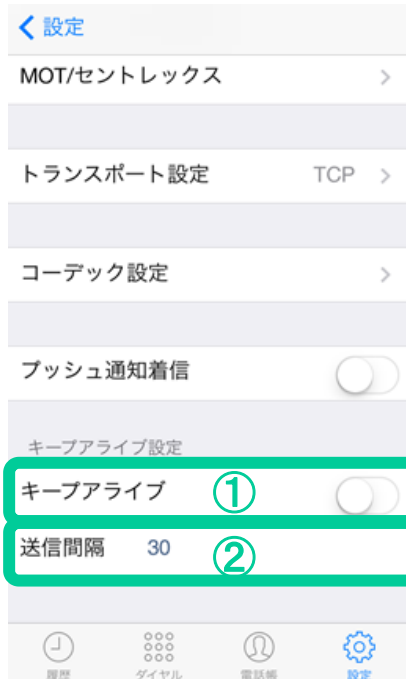
※バージョン4.7.1以上のMOT/PBX M-V1(+B)または、MOT/PRO環境でご利用可能です。(別途PBXの設定が必要となります)

※未対応の環境でMOT/PhoneをSIP TLSに設定した場合は通信不可能となります。

※MOT/TELではTLSの利用が可能です。ソフトバンク等の回線利用時はこちらを選択してください。

# ネットワークの接続状態を維持するためにキープアライブを設定する

MOT/Phoneから定期的にキープアライブパケットを送信するかどうかを設定します。



## 設定 > 接続設定 > キープアライブ設定

### ●キープアライブとは

定期的にMOT/Phoneアプリから、パケットを送信することで、4G/LTE網でのMOT/Phoneの着信動作が早くなる機能です。

※本設定は「プッシュ通知着信」がオフの場合に機能します。

※本設定をオンにすると電池消費量が少し増えます。

### ①キープアライブ

オンにするとMOT/Phoneから定期的にパケットを送信します。

### ②送信間隔

キープアライブパケットの送信間隔(秒)を設定します。通常は初期値の30秒で問題ありません。

## アプリの設定を初期化する

MOT/Phoneの設定と通話履歴を初期化できます。  
連絡先は消去しません。

## 設定 &gt; 初期化



「初期化実行」をタップして「はい」を選択すると、MOT/Phoneが自動的に終了して初期化が完了します。



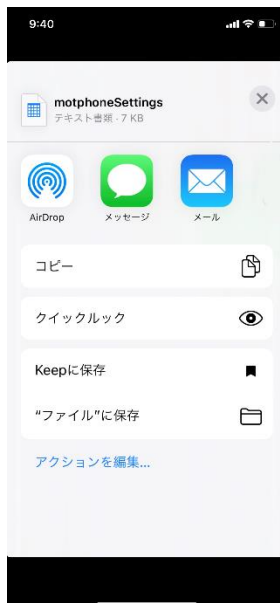
「履歴の全消去」をタップして「はい」を選択すると、通話履歴が全て消去されます。

## アプリの設定をファイルに保存する

アプリ設定→その他の設定→設定ファイルエクスポート→エクスポートボタンを押下(以下赤枠)で引継ぎ元設定ファイルのエクスポートが可能です。



エクスポートボタンを押下すると以下のような共有メニューが表示されます。必要に応じてエクスポート先(設定ファイルの保存先)を選択してください。

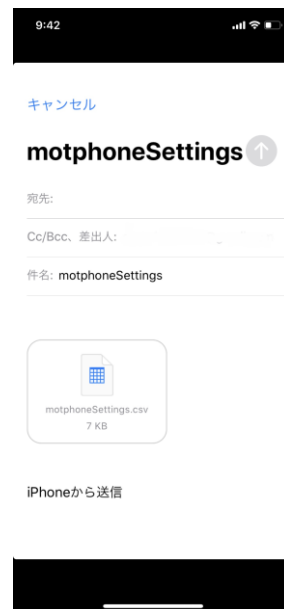
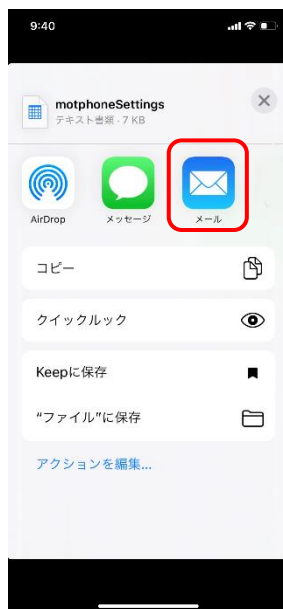


▶次ページへ続く

## アプリの設定をファイルに保存する

## 例①: 標準メールで設定ファイルをエクスポートする場合

以下赤枠のメールを押下することで標準メールから任意のあて先に設定ファイルを送付することができます。

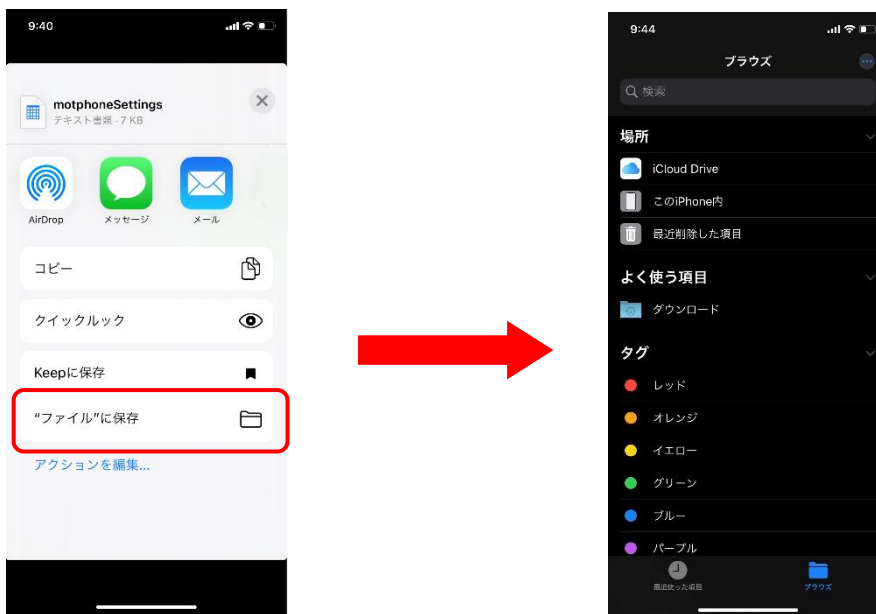
[▶次ページへ続く](#)



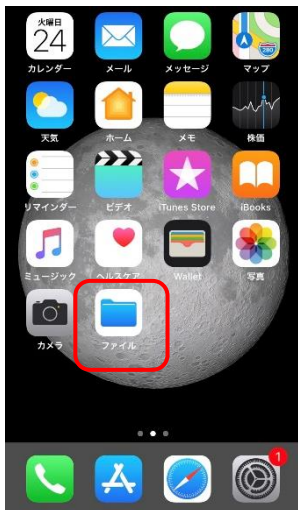
## アプリの設定をファイルに保存する

## 例②: 設定ファイルを”ファイル”に保存する場合

以下赤枠のメールを押下することで設定ファイルを任意の場所に保存することができます。



設定ファイルは iPhone標準の”ファイル”アプリに保存されます。



保存したアプリの設定ファイルを  
読み込み、設定を復元する

エクスポートした設定ファイルから共有メニューを表示して、  
以下赤枠の「MOT/Phoneにコピー」を押下することで設定のインポート（設定の  
引継ぎ）が  
可能です。設定の引継ぎに成功した場合はその旨のダイアログが表示されます。

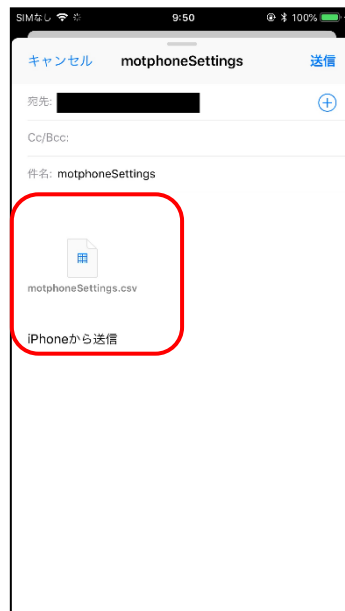


▶次ページへ続く

# 保存したアプリの設定ファイルを読み込み、設定を復元する

## 例①: 標準メールから設定ファイルをインポートする場合

標準メールで引継ぎ元の設定ファイルを受信した場合は以下赤枠を長押しすることで共有メニューが表示されます。「MOT/Phoneにコピー」を押下することでインポートが可能です。

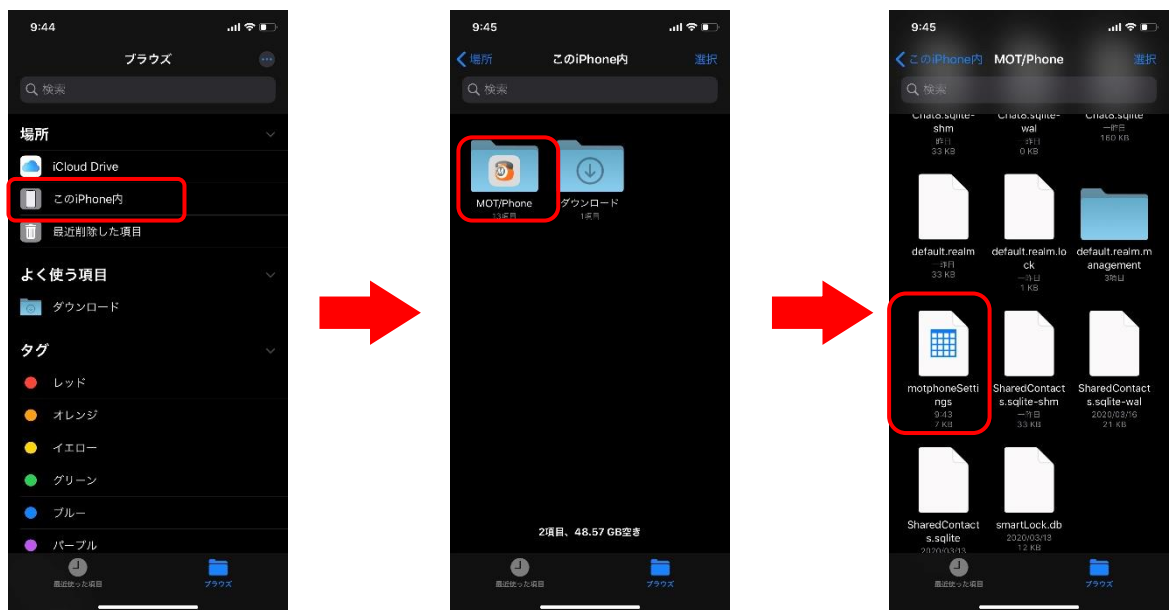


▶次ページへ続く

# 保存したアプリの設定ファイルを読み込み、設定を復元する

例②: iPhone標準の”ファイル”アプリから設定ファイルをインポートする場合

“ファイル”からインポートする場合は以下赤枠のように設定ファイルをこのiPhone内→MOT/Phoneフォルダ配下に配置してください。  
配置したファイルを押下することでインポートが可能です。



## 注意事項

以下の設定はエクスポートできません。手動での引継ぎが必要です。

- ・FAX設定の送付状設定
- ・着信音設定
- ・MOT/Chaの初回認証設定

インポート成功後はアプリを再起動してください。

引継ぎ先との設定の競合が発生する可能性があるため、引継ぎ元のアプリはアンインストールまたは初期化してください。

# アプリの動作で不具合が発生した場合、 デバック用ログを取得し送信する

## ログ送信機能

本機能を利用することで、弊社MOT/Phoneアプリの品質向上・不具合解析のための  
ログを送信することができます。  
ログの送信にはログの記録の有効化および、ログの手動送信が必要です。

### 【ログの記録の有効化】

設定 > その他の設定 > デバッグ設定 > ログ出力設定をオンの上、  
アプリを再起動するとログの記録が有効化※されます。



### 注意事項

ログの記録はデフォルトでは無効になっております。ログの記録を有効化してから、当アプリのログの記録が開始されます。開始するまでは、ログが記録されることはありません。

ログの記録が不要になった場合は、ログの出力設定をオフにしてください。

▶次ページへ続く

# アプリの動作で不具合が発生した場合、 デバック用ログを取得し送信する

## 【ログの送信】

ログの記録の有効化後、ログ記録の上以下の手順でログを送信することができます。

### 1. 設定 > その他の設定 > デバッグ設定にてログを送信するボタンを押下



### 2. iPhone標準のメーラーが起動し、メール送信画面が表示、 右上の送信ボタンを押下



## 注意事項

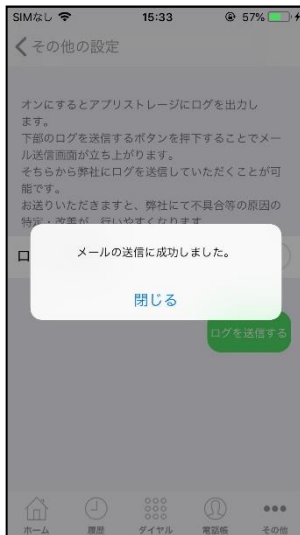
あて先はデフォルトで弊社サポートチームになっております。

アカウント設定未実施などでiPhone標準のメーラーを利用できない状態の場合はメーラーは起動しません。この場合はログの送信はできません。

▶次ページへ続く

アプリの動作で不具合が発生した場合、  
デバック用ログを取得し送信する

3.ログの送信に成功すると成功した旨のダイアログが表示されます。



## MOT/Phoneアプリのアップデートを行う

MOT/PhoneのバージョンアップはApp Storeアプリで実施します。



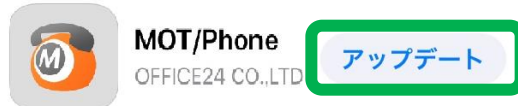
① iPhoneアプリに更新が存在すると、App Storeアイコンに更新できるアプリ数を示したバッジが現れます。



## アップデート

保留中

すべてをアップデート



いつもMOT/Phoneをご利用いただきありがとうございます。

・ Callkit画面にて着信番号の表示順序を変更できるようにしました。

② アップデート内容をご確認の上、アップデートボタンをタップしてください。自動的にMOT/Phoneのダウンロードとインストールが行われます。

## 注意事項

バージョンアップ時にMOT/Phoneが自動的に停止しますので、バージョンアップが完了した後、MOT/Phoneをタップして起動してください。



その他の  
設定MOT/Phoneアプリのアンインストール  
を行う

MOT/Phoneをアンインストールすると設定情報やMOT/Phoneの通話履歴が消去されます。

MOT/PhoneをアンインストールするとMOT/Phoneの設定情報やMOT/Phone上の通話履歴が消去されます。iPhone本体の通話履歴は消去されません。



MOT/Phoneアイコンに×が表示されるまで、アイコンを長押しします。

×を押すとダイアログが表示されます。削除ボタンを押します。

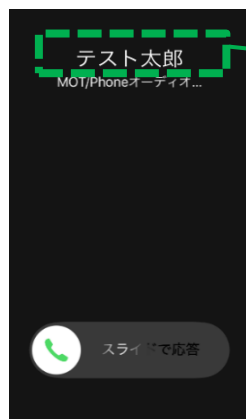
MOT/Phoneが削除されます。

## 他社アプリ「連絡とれるくん」と連携する

## 「連絡とれるくん」との連携について

PhoneAppli社のWeb電話帳、履歴管理アプリ「連絡とれるくん」との連携により以下を行うことができます。

- ・「連絡とれるくん」スマホアプリ、ブラウザでの管理ページでのMOT/Phoneの発着信履歴の共有、確認
- ・連絡とれるくんアプリの電話帳から「MOT/Phoneアプリ」での発信  
※本機能を利用する場合は、連絡とれるくん側に以下の設定が必要です。  
連絡とれるくんのブラウザ管理ページ側>「電話番号URLスキーム」にmotphone://と入力
- ・MOT/Phone着信時、端末の電話帳に登録されていない番号でも、「連絡とれるくん」に登録されていれば、その名称を表示(以下はイメージです)



連絡とれるくんに登録されている名称が表示されます

## 注意事項

- 本ページに記載されている他社の社名および製品は商号および登録商標です。
- この機能を使用するには、別途、PhoneAppli社の「連絡とれるくん」の契約を行ったうえで本アプリの設定>連絡とれるくん設定にて「連絡とれるくん」のアカウント情報を設定する必要があります。
- 発着信履歴を共有するには本アプリの設定>連絡とれるくん設定にて発着信履歴を共有する設定をオンにする必要があります。
- 着信画面での名称表示にはMOT/Phoneで「CallKit」を有効にする必要があります。

## 外部サービス連携の設定をする

## 外部サービス設定について

以下の外部サービスやアプリとの連携用設定は「外部サービス設定」から行えます。  
(各項目の詳細につきましてはリンク先をご参照ください。)

- ・[ぱっとスルサービス](#)
- ・[ハイ!経費サービス](#)
- ・[VALTEC BCPサービス](#)
- ・[連絡とれるくん](#)

設定 > 赤枠の外部サービス設定を押下すると下記の【外部サービス設定】画面が表示されます。



## 【外部サービス設定】



▶次ページへ続く

## 外部サービス連携の設定をする

## 各設定項目について

## ・ぱっとスルサービス設定



URL : デフォルトのURLが入力されている場合、または何も入力されていない場合はデフォルトの弊社ぱっとスルWEBサイトへ移動いたします。通常はこの項目は使用いたしません。  
(入力が必要な場合は別途ご案内いたします。)

## ・ハイ！経費サービス設定



URL : デフォルトのURLが入力されている場合、または何も入力されていない場合はデフォルトの弊社ハイ！経費サービスへ移動いたします。通常はこの項目は使用いたしません。  
(入力が必要な場合は別途ご案内いたします。)

契約顧客コード : ハイ！経費サービスの契約顧客コードを入力する項目です。

ユーザID : ハイ！経費サービスのユーザIDを入力する項目です。

パスワード : ハイ！経費サービスのパスワードを入力する項目です。

▶次ページへ続く

## 外部サービス連携の設定をする

## 各設定項目について

## ・VALTEC BCP設定



メールアドレス : VALTEC BCPアカウントのアカウントID  
(アカウントメールアドレス)を入力する項目です。

パスワード : VALTEC BCPアカウントのパスワードを入力する  
項目です。

URL : 何も入力されていない場合(空欄の場合)は  
弊社デフォルトのアカウントバーコード  
表示サイトへ移動いたします。  
通常はこの項目は使用いたしません。  
(入力が必要な場合は別途ご案内いたします。)

## ・連絡とれるくん設定



発信履歴を共有する : 連絡とれるくんととの発着信履歴の共有  
を行う場合はONにしてください。

アカウント情報 : 連絡とれるくんアカウント情報を入力  
してください。

## 外部サービス連携設定：ぱっとスル

## ぱっとスルサービスに移動する

設定 > 表示設定から下記設定画面赤枠のぱっとスルを有効にすると  
スマートメニュー赤枠が表示されます。  
押下すると弊社ぱっとスルWEBサイトへ移動いたします。



弊社ぱっとスルWEBサイトへ移動(イメージ)



## 外部サービス連携設定:ハイ!経費

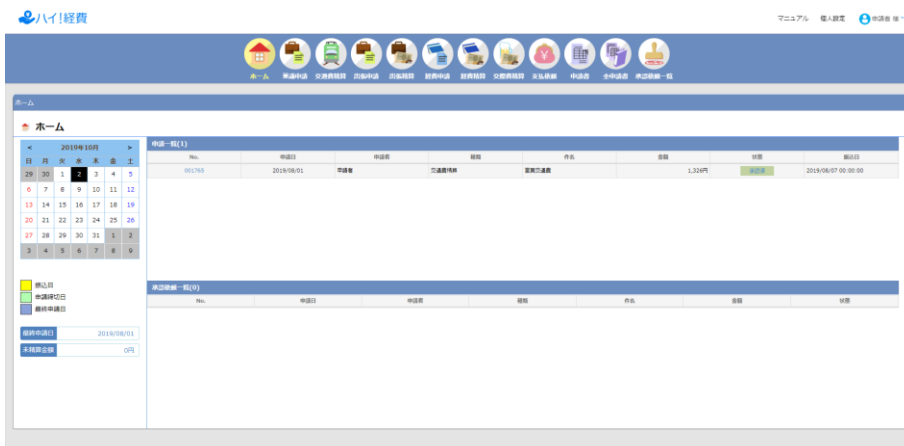
## ハイ!経費サービスに移動する

設定 > 表示設定から下記設定画面赤枠のハイ!経費を有効にすると  
スマートメニュー赤枠が表示されます。

押下すると弊社ハイ経費サービスへ自動ログインし、サービスサイトに移動いたします。  
※自動ログインには外部サービス設定 > ハイ!経費サービス設定でアカウント情報の  
入力が必要です。



弊社ハイ!経費サービスへ移動(イメージ)



## 外部サービス連携設定: VALTEC BCP

## VALTEC BCPサービスに移動する

設定 > 表示設定から下記設定画面赤枠のVALTEC BCPを有効にすると  
スマートメニュー赤枠が表示されます。

押下すると弊社VALTEC BCP会員証代わりとなるバーコード表示サイトへ移動いたします。

※バーコードの表示には外部サービス設定 > VALTEC BCP設定でアカウント情報の  
入力が必要です。



バーコード表示サイトへ移動(イメージ)

VALTEC BCP

バーコードが表示されます



# 「エントランス解錠」出勤お知らせ機能 を利用する

## 出退勤お知らせ設定

エントランス解錠機能を利用するには、この機能に対応したMOT/PBX、電気錠が必要です。

オンの場合、「エントランス解錠」※でのドア解錠後、現在の出退勤状態に応じて、出勤・退勤打刻確認メッセージが表示されるようになります。(次ページ図②参照)

※「エントランス解錠」については[エントランス解錠機能ページ](#)をご参照ください。

※本機能はエントランス解錠画面のみの対応となっております。ワンタッチボタンで解錠をおこなっているお客様は、エントランス解錠機能を用いて解錠をおこなってください。

※「出勤・退勤お知らせ設定」がどちらも無効の場合、エントランス解錠時に勤怠情報を取得することはありません。

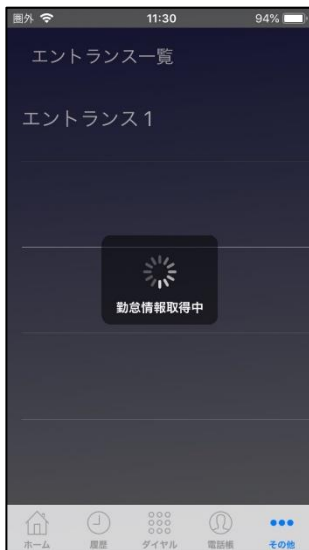
※「出勤・退勤お知らせ設定」のどちらかが無効の場合、有効になっている項目のみエントランス解錠後に確認メッセージが表示されます。



▶次ページへ続く

# 「エントランス解錠」出勤お知らせ機能 を利用する

図①



図②



図③



図④



## 出退勤お知らせ機能

以下のイメージのように、解錠確認にて「はい」を押下するとドア解錠の際に出退勤状態を取得します。

ドア解錠実施後、スマートメニュー（スマートメニューがオフの場合はダイヤル画面）に戻ったタイミングで図②のような確認メッセージが表示されます。

（この場合は出勤確認です。各々の出退勤状態に応じて、表示される処理内容・メッセージが異なる場合がございます。）

図②にて「はい」を押下すると、打刻処理を行います。

打刻に成功した場合は図④のような成功した旨の表示を行います。

失敗しますと、その旨の表示を行います。通信状態や本アプリの「設定」→「MOT/Cloud設定」の設定内容のご確認をお願い致します。

スマートロック  
を利用する

# スマートロック機能をMOT/Phoneの 起動画面に表示する

スマートロック(ドアコンシェル)を利用するには、MOT/Cloudの契約が必要です。はじめにMOT/Cloudの設定を行ってください。

## 設定方法

MOT/Phone設定 > 表示設定 にて「スマートロック」の項目をオンにし、アプリを再起動してください。再起動後、以下のようにメニューが追加されます。



【通常メニューの場合】



【スマートメニューの場合】

## 項目説明

スマートロックメニューを選択し、下記の画面を開きます。  
ドアを解錠する権限があるもののみ一覧に表示されます。  
(権限を付与する方法は別紙MOT/Cloudのマニュアルをご覧ください。)



- ①カギ名 : カギの名前を表示します。
- ②有効開始期限 : この日時以降にカギが使用できます。
- ③有効終了期限 : この日時までカギが使用できます。期限がない場合、「期限なし」と表示されます。

スマートロック  
を利用する

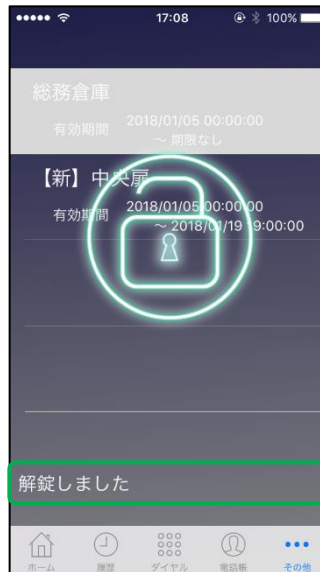
# 解錠を行う

## 使用方法

ドアの近くで解錠するカギ名を選択します。



【解錠実行中】



【解錠成功】



【解錠失敗】

上図  内に解錠の実行結果が出てきます。

解錠ができなかった場合は、次ページのメッセージ内容とエラーコード対応表をご確認ください。

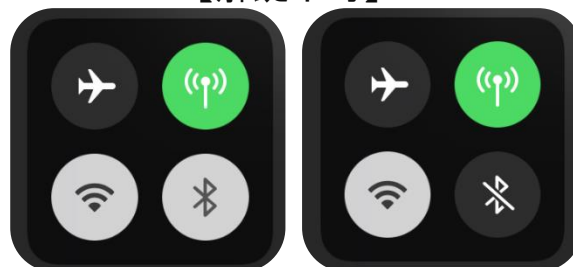
※iPhoneのBluetooth機能が「オン」になっていることを確認してください。

※iOS11以上の場合、以下の図のようにiPhoneのコントロールセンターにてBluetoothのマークが青色になっている必要があります。

【解錠可能】



【解錠不可】



スマートロック  
を利用する

## 解錠エラーコードが表示された場合

### エラーコード対応表

解錠失敗の際、メッセージ欄に「解錠できませんでした。(E-)」と表示された際は、以下のコードを参照してください。

エラーコード	状況
E1	プレフィックスの形式が正しくありません。
E2	シリアル番号の形式が正しくありません。
E3	コールバックがありませんでした。
E4	電子錠が要求する通信方式をサポートしていません。
E5	電子錠からの応答が指定した時間内に返ってきませんでした。
E6	ライブラリの内部で不明なエラーが発生しました。
E7	接続に失敗しました。
E8	Service検索中にシステムエラーが発生しました。
E9	Characteristic検索中にシステムエラーが発生しました。
E10	解錠結果通知受信設定中にシステムエラーが発生しました。
E11	指定されたシリアル番号が正しくありません。
E12	指定されたパスワードが正しくありません。
E13	指定された端末識別子が正しくありません。

### 注意事項

- スマートロック機能を利用するには、MOT/Cloudの契約が必須です。
- 本機能はiPhoneのBluetooth機能を利用します。
- 弊社から販売されるスマートロック(ドアコンシェル)のみで、本機能を利用できます。

スマートロック  
を利用する

# エントランス解錠機能を利用する

エントランス解錠機能を利用するには、この機能に対応したMOT/PBX、電気錠が必要です。

## 設定方法

①MOT/Phone設定＞表示設定にて「エントランス解錠」の項目をオンにします。



【通常メニューの場合】



【スマートメニューの場合】

②MOT/Phone設定＞エントランス設定



※エントランスは5つまで登録ができます。

③MOT/Phoneを再起動してください。

## アカウント選択

解錠時に使用するアカウントを選択します。プライマリ、セカンダリ、都度選択、の中から選択できます。

## 解錠番号

管理者より通知される、エントランス共通の、解錠に使用される番号です。

## 表示名

任意でエントランスの名前を設定することができます。

## エントランス番号

管理者より通知される、エントランス固有の識別番号です。

スマートロック  
を利用する

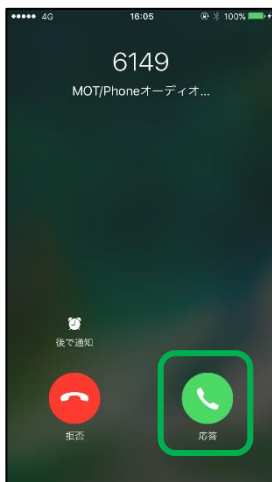
# 解錠を行う(来訪があった場合)

## 使用方法

2種類の解錠方法があり、それぞれについて説明します。

### 来訪者に対してエントランスを解錠する場合

- ①来訪者よりエントランスの端末から着信があります。
- ②来訪者と通話をし、解錠の必要があれば通話画面の「解錠」ボタンを押下します。
- ③確認のメッセージが表示されるので、「はい」を押下します。これでエントランスが解錠されます。
- ④「切断」ボタンで通話を終了します。



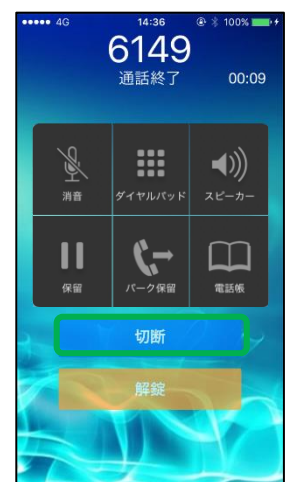
①



②



③



④

## 注意事項

- オレンジの「解錠」ボタンが表示されない時は、エントランス解錠機能(1)のエントランス番号の設定が正しく入力されているかをご確認ください。

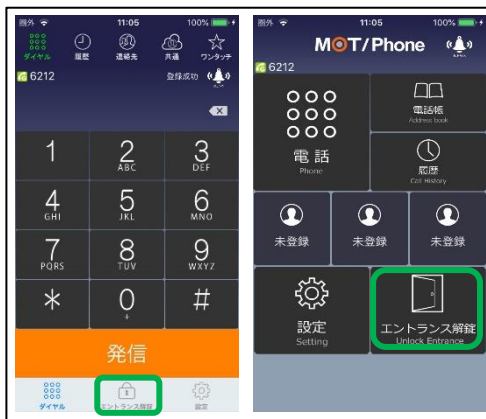
スマートロック  
を利用する

# 解錠する（居住者が帰宅した場合）

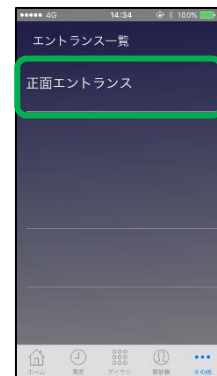
## 使用方法

### 居住者が帰宅時にエントランスを解錠する場合

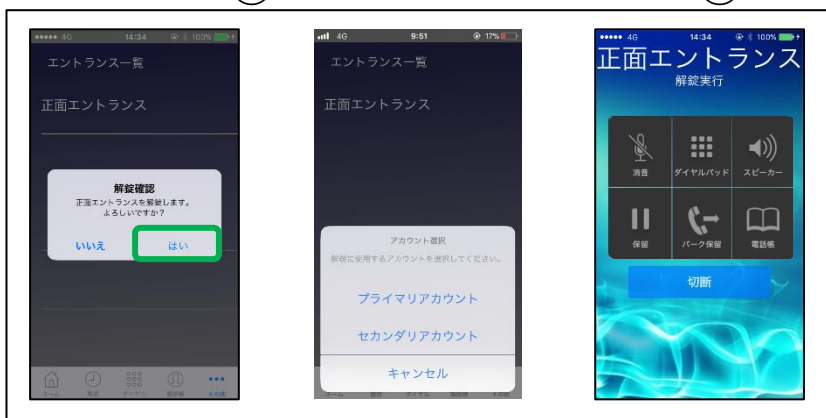
- ①メニューより「エントランス解錠」を選択します。
- ②登録されたエントランス一覧より、解錠したいエントランスを選択します。
- ③確認のメッセージが表示されるので、「はい」を押下します。これでエントランスが解錠されます。  
※解錠に使用するアカウントを「都度選択」にしている場合は、選択ダイアログが出ます。



①



②



③

### 注意事項

- ②のエントランス一覧に項目が表示されていない場合は、エントランス解錠機能(1)のエントランス番号の設定が正しく入力されているかをご確認ください。



## 仕様

項目(機能)	内容	備考
名称	MOT/Phone iPhone版	
動作環境	iPhone 5s以降対応	iOS12以降対応
呼制御方式	SIP(RFC3261) TCP、UDP、またはTLS	
音声コーデック	OPUS(推奨)、AMRNB(ナローバンド)、SILK、PCMU(G711 $\mu$ -Law)	OPUSは対応するPBXが必要
対応言語	日本語、韓国語、英語、中国語簡体字、中国語繁体字	
DTMF送出	RFC2833	
接続先	MOT/PBX シリーズ、MOT/PRO、MOT/TELサーバ	その他のPBX接続は保証外
保留/転送	通話相手を保留後、取り次ぎ転送が可能	SIP独自方式 (SIP REFER/NOTIFY)
パーク保留	1~6のパーク保留ボタンを利用可能	SIP独自方式(SIP SUBSCRIBE/NOTIFY)
同時通話数	同時通話数1 IP通話1通話/PSTN通話1通話(片側保留)	
音声制御機能	エコーキャンセラ	設定によって変更可能
着信鳴動音	アプリ独自9種類の音源。Callkit有効の場合はiPhone標準音源を利用可能。	
マナーモード	サイレントスイッチの設定に従ってバイブレーション動作	
着信音量変更	本体のサウンド設定に従う	
通話中音量変更	側面の音量ボタンで調整。本体のサウンド設定に従う	
スピーカー	通話中にスピーカ出力に切替可能。	
マイクミュート	通話中にミュート切替可能。	
電話帳	端末標準電話帳および共通電話帳を参照	タップによる発信可能
通話履歴	MOT/Phoneによる通話履歴を独自に保存	アプリ側の設定により、本体の履歴に反映可能
外線発信	IP発信/PSTN発信に対応 (MOT/PBXによる切替通話)	
内線発信	設定した内線番号で通話可能	MOT/PBX側で制御する内線
無線	WiFi / 4G, LTE (WiFi有効時はWiFi接続優先)	
着信名称表示	以下の順番で優先表示 1. MOT/PBX側顧客POPUP情報表示 2. 携帯端末内の電話帳登録情報	着信時は、携帯端末内の電話帳登録情報が優先
設定変更	MOT/Phoneアプリ内にて設定	一部設定は本体設定でも変更可能

# 注意事項

## ■MOT/Phone iPhone版について

- ◆MOT/Phoneは、バルテックが提供するiPhone上で動作するソフトフォンアプリです。
- ◆当社製IP-PBX装置(MOT/PBXまたはMOT/TEL)によって構築される内線電話網内にて内線電話機として動作する事が可能です。
- ◆WiFi環境化においてIP-PBX配下の無線ビジネスフォンとして、4G/LTE環境ではリモート内線電話機としてご利用が可能です。

## ■利用における注意事項

- ◆当社として、MOT/PBX・MOT/MED・MOT/PRO、MOT/TEL以外との接続で生じた問題は補償の対象外、且サポートいたしませんのでご注意ください。
- ◆本ソフトは当社が接続確認を実施した端末以外にインストールした場合の動作は保障いたしませんのでご注意ください。
- ◆当社が提供しているのは本アプリ以外の、インストール先の装置本体の動作、仕様、装置本体に起因する問題へのサポートは、対応できない場合がございますのでご注意ください。
- ◆本アプリはWiFi通信とは別に、携帯キャリアが提供する網を利用したVoIPを利用することができます。4G/LTE網を利用した通信は携帯キャリアによって別途パケット4G通信料金がかかりますのでご注意ください。
- ◆4G/LTE網を利用した通信に起因するトラブルは、当社としてサポート致しかねますので予めご了承ください。
- ◆4G/LTE網は各通信キャリアが管理しているものとなりますため、通信速度の保障等が無い限り、遅延/通信障害等本アプリでは制御できない問題が生じる場合がございます。この場合、当社として通話品質等の保証ができない場合がございますので予めご了承ください。
- ◆当社が指定しているマニュアルに記載されているご利用方法以外の使用方法によって生じた問題は品質保証対象外になります。

## ■本書について

本書には本装置を正しくご利用いただくための、接続・設置方法、注意・警告事項が記載されているため、お使いになる前に必ずお読みになり、方法や注意事項を十分ご理解いただいた上でご利用ください。本書は紛失しないように、大切に保管してください。

- ◆本書および本製品の一部または全部を無断で転載、複製、改変することはできません。
- ◆本書および本製品の内容は、改変・改良・その他の都合により予告無く変更することがあります。
- ◆本製品の使用または使用不能から生ずる付随的な損害(事業利益の損失・事業の中断・記録内容の変化・消失など)に関して、当社は一切責任を負いません。
- ◆取扱説明書の記載内容を守らないことにより生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- ◆接続機器との組み合わせによる誤動作から生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- ◆本書に記載されている会社名、製品名は、それぞれ各社の商標または登録商標です

株式会社バルテック <https://www.webjapan.co.jp/>

〒163-1103 東京都新宿区西新宿6-22-1新宿スクエアタワー3F